

「いごごちの良い怪談、怪談らしい怪談」

「MYSTERY NIGHT TOUR 2024 稲川淳二の怪談ナイト～怪談喜寿～ in 三次」が7月26日（金）に三次市民ホールで開催されます。来広された稲川淳二さんに取材をしました。



●今年の怪談のテーマは？

いごごちの良い、笑えて楽しくて懐かしいような怪談です。今年は特にテーマは設けていませんでしたが、ライブ感を重視した怪談らしい怪談がそろいました。今年は、去年に比べても成長していると思いますよ。

怪談の面白さって小さなお子さんから若い人、お父さんお母さんやお年寄りの方まで楽しめるんです。ただ怖いだけじゃなくて、生活に入り込んでいるというか生活の中に根差していて、家の中に当たり前のようにあって決して特別な物じゃないんですよ。おばあちゃんが話してくれたりする怪談はこわいけど、その裏には楽しいって言葉も入ってるんでしょうね。

●今年で32年目の怪談ナイトですが、長年続けられる秘訣はなんですか？

間違いなくファンの方に支えられてきました。共同作業です、ほかの舞台なんかは一方通行ですけど、怪談はそうはいかないんです。やっぱり私の怪談を愛してくれる、理解してくれる。私も人間ですから、すごくきつい時もあるわけで、そんな時に縁もゆかりもない人がお手紙なんかで元気づけてくれたりして、すごくがんばれたんです。会ったことない人が、私にこんなに思いを持ってくれて気を遣ってくれて、胸が詰まる思いです。よーしやってやろうかという気持ちになるわけです。ファンの皆さんが私に力をくれてます。協力してくれる皆さんがいて、毎回がんばってくれてるスタッフや関係者の皆さんがいるじゃないですか。そうするとまだまだ自分だけが死ぬわけにはいかないなあと思うんですよ。2か月間病気で死の苦しみを味わって、こんなに苦しいことは生まれて初めてだと感じた時にでさえも、助けてくれる人がいる、私のことを思ってくれてる人たちがいるんだと思ってがんばれましたね。

●広島は怪談の舞台としてどうですか？

ずいぶん前のことになりますが、三次市の会場でたくさんのお客様が幽霊を見ちゃった話、結構有名です。

タレントをやっているころ、広島へはよく来たんです。私には好きな街が三つあるんですけど、きれいな街で最高のトップが広島なんです。広島では時々不思議が起きるけど、私は起きてても不思議はないと思います。磁場がすごくいいんですよ広島は。磁場がいいところは本来幽霊よりも妖怪話が多い。広島には妖怪話がいくつもありません、歴史があるからなんです。人がいない所に怪談は無いというでしょう。人がいるから怪談がある、歴史があるから

怪談がある。怪談話があるくらい魅力的な場所なんですよ。広島大好きです、何度住みたいと思ったことか。路面電車も走るじゃないですか、ロマンあふれてますよ。もともと文化のある街だから。ほんと最高の街ですよ、大好き。

●広島ファンの皆さんにひと言お願いします

私は広島が大好きですから、パワーが湧きますよ。自分の力を何倍にもしてくれるのが広島なんですよ。今年もみなさんとお会いできることを心から楽しみにしております。



三次市市制施行20周年・三次もののけミュージアム開館5周年・三次市民ホール開館10周年記念

MYSTERY NIGHT TOUR 2024

稲川淳二の怪談ナイト～怪談喜寿～in三次

◆三次市民ホール きりり 大ホール
7月26日(金) 怪場17:30/怪宴18:30
<https://www.kiriri.org/event/35741/>

◆お問い合わせ
三次市民ホール きりり(KIRIRI) TEL:0824-62-2222
(9:00～22:00、毎週水曜日休館)